

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	1208	一般事務管理	会計	04	簡易水道事業特別会計
			款	01	簡易水道費
基本施策	21	安全でおいしい水道水を安定供給する	項	01	簡易水道管理費
			目	1	簡易水道管理費
担当部課名		水道総務課	細目	101	簡易水道管理費
作成者氏名	上田賢博	連絡先	細々目	02	簡易水道管理費
		24-9861			

事業の計画・内容

目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
設置目的	簡易水道使用者に水道料金を知らせ使用料を支払ってもらう。 基準に適合した水道水の水質管理。 簡易水道を利用している使用者・老朽化した施設	料金聴衆が確保されることにより健全な経営が推進できる。 日常的に機器の点検・調整を行い安心・安全でおいしい水道水を供給する。 老朽化した施設を整備し安定給水の確保を図る。
本年内容	委託により水道メータを検針して、使用量を把握する。 厚生労働省が示す水質基準48項目を検査(3ヶ月に1回48項目、年1回50項目)市、水道水の安全性を確保 施設の維持管理: 上野簡易水道は各運営委員会にて施設の維持管理業務委託を実施。青山地区浄水場は夜間10時までシルバー人材センターに委託。	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 (委託先: ) <input type="checkbox"/> 民間委託等	根拠法令・要綱等 水道法
市内の類似施設		

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	4	4	4
臨時職員			
人件費合計(A)	28,800	28,800	28,800
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	150,278	0	0
委託料	38,713		
原材料費	8,497		
工事請負費	31,251		
その他	71,817		
合計(A+B)	150,278	28,800	28,800
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国庫支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財	2,461		
一般財源	147,817	28,800	28,800
上記①～③に関する特記事項 18年度から細細目の変更に伴い04から13の各簡易水道管理費に包含。 H17～H19は各年度臨時職員7名雇用			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
水質基準項目数と実施項目数	件	48	50	50			
検査箇所と実施した箇所数		17	17	17			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
給水事業範囲内の適正な給水率	施設設備を適正に管理し、各戸に給水することを指標とする。	%	100 目標 ( )	100	100
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

各簡易水道施設や浄水場の維持管理業務、場内の清掃業務、水量計器等の保守点検業務等を委託し浄水場濾過入れ替え工事修繕工事など運転管理に必要な工事を実施している。上野地区は、諏訪を除く簡易水道を上水道に統合すべく第8次拡張事業計画に基づき整備をしている。他の地区は阿波・馬野簡易水道を除き平成21年度に上水道に統合する。  
維持管理に必要な経費をより効率的・経済的に行うよう運転管理を行う。

評価	必要性	4	最小の経費で最大の効果を得るため需用費等の節減に努めるなど効率性はある。 安心安全でおいしい水道水を供給するため、適正な水質管理が必要であり水質基準に合わせた検査をすることにより水道水の安全性を確認しており有効性・達成度は高い。	総合評価
	有効性	3		A
達成度	4			
効率性	3			